

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 湊江中学校 校長 伊東 一

1 学校教育目標

- よく考え自ら学ぶ人
- 正しく判断し実行する人
- 礼儀正しく情操豊かな人
- 心身ともに健康な人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- 図書館支援員を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- 図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13943 冊（蔵書基準冊数 11680 冊）／ 蔵書率 119.3%（前年度末 113.3%）									
	② 新規購入図書 565 冊／ 廃棄図書 998 冊／ 増減冊数 433 冊減									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.83%	2.88%	11.85%	11.04%	10.57%	4.39%	2.90%	8.78%	5.29%	39.47%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12:30 から 17:30 まで									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 10.26 冊（前々年度末：4.15 冊）									
	③ 学校図書館利用率 959.1%（前々年度末：747.8%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊／ 廃棄図書 冊／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
① 朝読書の時間や休み時間、放課後の時間等、読書をすることができる。					① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 12 冊（昨年平均 10.86 冊）					
② 図書館の本や新聞等を活用しながら探求活動を進めることができる。					② 進路学習における課題、校外学習の事前課題の提出率 100%					
③ 学校図書館のきまりや仕組みを理解する。					③ 学校図書館のオリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%					
目標達成状況										
①										
②										
③										

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 読書習慣を継続し、様々な読み物を読もうとする意欲を育成する。 ② 課題に応じて学校図書や ICT 機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③ 学校図書館をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 朝読書の時間や休み時間、放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等の ICT 機器を使い分けて探求活動を進め、自分の考えをまとめることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、ルールを守って学校図書館を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 12 冊以上 (昨年平均 1.12 冊) ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率 60%以上 ③ 読書や探求活動の授業を年 5 回以上実施するクラスの割合 100%

目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ 	

第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書や ICT 機器を活用した探求活動を通して、言語活動の育成を図る。 ③ 学校図書館をよりよくするための活動をする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 朝読書の時間や休み時間、放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等の ICT 機器を使い分けて探求活動を進め、自分の考えをまとめて表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じた使い方を自ら考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 12 冊以上 (昨年平均 3.70 冊) ② 修学旅行の課題提出率 100% ③ 読書や探求活動の授業を年 5 回以上実施するクラスの割合 100%

目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① ② ③ 	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p>【蔵書・配架等に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 蔵書構成割合を念頭に置いて廃棄および新規購入図書の選定を進め、国基準により近づけるようにする。 ② 準備室の蔵書について廃棄図書の選定を進め、「三桁分類」への転換を全体の9割程度終了する。 	
<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館のオリエンテーションを実施し、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べる学習を始め、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 図書館だよりや読書イベントなどを開催し、生徒の利用率を上げる。 ④ 新聞やキャリア教育等、時期に応じた連携や協働を計画的に行う。 	

【その他】

- ①年度末の貸出返却率が 99%となるよう取り組む。
- ②調べる学習では、地域の図書館の利用方法を案内する。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）